

安全データシート

製品名 シリコングリース

作成日 2011 年 6 月 9 日

改訂日 2015 年 11 月 28 日

1 化学名及び会社情報

化学品の名称	シリコングリース
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	No.GHS-0092

2 危険有害性の要約

GHS 分類

分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル なし

危険有害性情報 特に有害ではない。

注意書き

 安全対策 皮膚及び眼との接触を避けること。
換気の良い場所でのみ使用すること。

 応急措置 火災や爆発の場合、フュームを吸入しないこと。
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。

保管 特になし

廃棄 特になし

3 組成および成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学名(一般名)	シリコンコンパウンド

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
シリカ	10-20%	—	—	—

注釈 法令で定められているもの、または GHS におけるカットオフ値以上の上記成分を含有する。

4 応急措置

吸入した場合	<p>特に応急手当の必要はない。</p> <p>予期される症状： 急性：1回の短時間の暴露では、重大な刺激が無いと推定される。 慢性：影響は、わかっていない。</p>
皮膚に付着した場合	<p>特に応急手当の必要はない。</p> <p>予期される症状： 急性：1回の短時間の暴露では、重大な刺激が無いと推定される。 慢性：影響は、わかっていない。</p>
眼に入った場合	<p>すぐに水で洗い流すこと。</p> <p>予期される症状： 急性：直接接触すると、一時的な赤眼現象や不快感を生じる場合がある。</p>
飲み込んだ場合	<p>医師の診察を受ける。</p> <p>予期される症状： 急性：通常の使用においては、摂取による毒性は低い。 慢性：繰り返し経口摂取したり、多量に飲み込んだ場合は、体内に損傷を与える場合がある。</p>
重要な徴候及び症状	通常の使用では重大な有害影響はない。
応急措置をする者の保護	特に保護マスクを必要としない。適切な保護具を着用すること。最低限、安全メガネは必要である。食事時及び勤務交代時に手を洗うこと。
医師に対する特別注意事項	症状に応じて処置する。
<hr/>	
5 火災時の措置	
消火剤	大規模な火災には、粉末消化剤、泡消化剤、水スプレーが有効である。小規模な火災には、二酸化炭素、粉末消化剤、水スプレーが有効である。炎に照らされた容器を冷却するために水が使用可能である。
使ってはならない消化剤	特になし
火災時の特定危険有害性	特になし
特定の消火の方法	炎に照らされた容器を冷却するために水スプレーを使用すること。
消火を行う者の保護	化学物質を含む大規模な火災を消化する際には、自給式呼吸装置付き耐熱性保護衣服を着用すること。
<hr/>	
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	<p>眼への接触を避けること。</p> <p>飲み込まないこと。</p> <p>適切な保護具を着用する。</p>
環境に対する注意事項	下水溝や、水面に大量に投棄してはいけない。
回収、除去	製品安全データシート上に記載されている個人用推奨保護具の全てを参照すること。もし、漏洩物を汲み上げることができるなら、適切な容器に回収し、保管すること。拭き取り、こすってきれいにした後、容器を回収し処理する。

二次災害の防止法

床に漏れた場合、漏洩物の中には、少量であっても滑り事故を引き起こすものがあるため、適切な方法で除去すること。除去作業の仕上げには、洗剤、溶剤、高圧水蒸気等が有効である。
 自然発熱が起きる可能性があるため、使用後の吸収剤や洗浄用資材は適切な方法で廃棄すること。
 放出や廃棄は法律や規制の対象になる可能性がある。また同様に洗浄に使った道具類もその対象になりうる。どの法律や規制が適用されるか判断する必要がある。

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

適切な換気をする。空気中で 230℃以上に加熱されると、微量のベンゼン(発がん性物質)が発生する可能性がある。高温で使用する場合には換気を行い、吸入基準以下に維持管理すること。150℃以上に加熱されると、少量のホルムアルデヒドが生成する可能性があるため、十分な換気が必要である。

注意事項

眼への接触を避けること。
 飲み込まないこと。

安全取扱い注意事項

労働衛生の実施を徹底すること。
 作業後、特に飲食や喫煙の前には手を洗うこと。

保管

適切な保管条件

適切に配慮する。

避けるべき保管条件

酸化物質から離して保管すること。

安全な容器包装材料

特に決まっていない。

8 暴露防止及び保護措置

設備対策

局所排気装置:特に必要なし。
 一般排気装置:適切な換気を行うこと。

管理濃度

特になし

許容濃度(暴露限界値)

ACGIH

特になし

日本産業衛生学会

特になし

保護具

呼吸器の保護具

特に保護マスクを必要としない。

手の保護具

特別な手袋を必要としない。

眼の保護具

保護眼鏡または安全ゴーグルを使用する。

皮膚及び身体の保護具

食事時及び勤務交代時に手を洗うこと。

9 物理的及び化学的性質

物理的状态

薄い青色のペースト

臭い

無臭

pH

データなし

融点・凝固点(℃)

データなし

沸点(℃)

データなし

引火点(℃)

>100℃ (セタ密閉式)

発火点(°C)	データなし
燃焼または爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	1.0g/cm ³
溶解性	データなし
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	常温で安定である。
危険有害性反応可能性	危険な重合は起こらない。
避けるべき条件	特になし
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	二酸化ケイ素 酸化炭素類、微量の不完全燃焼した炭素化合物 ホルムアルデヒド 窒素酸化物

11 有害性情報

急性毒性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
皮膚腐食性・刺激性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
眼に対する重篤な損傷・刺激性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
呼吸器感作性または皮膚感作性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
生殖細胞変異原性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状、 「15. 適用法令 変異原性が認められた化学物質」を参照
発がん性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状、 「15. 適用法令 がん原性が認められた化学物質」を参照
生殖毒性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照
吸引性呼吸器有害性	「3. 組成及び成分情報」、「4. 応急措置」の症状を参照

12 環境影響情報

移動性	この製品は固体であり、この製品から溶出する可能性があるほどの濃度の水溶性成分は含んでいないため、陸生生物への危険性は無いと思われる。
残留性・分解性	非水溶性の固体物質
生態蓄積性	生態蓄積性の可能性はない。
生態毒性	

廃水処理施設での影響	バクテリアに対する悪影響は予期されない。
水生環境急性有害性	水生生物に対する悪影響は予期されない。
水生環境慢性有害性	水生生物に対する悪影響は予期されない。

13 廃棄上の注意

廃棄方法

残余廃棄物	「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の産業廃棄物に該当する。 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
-------	--

汚染容器及び包装	関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
----------	------------------------------

14 輸送上の注意

国際規制

国連番号 (UN No.)	分類基準に該当しない
---------------	------------

国内規制

陸上規制情報	規制なし
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物

15 適用法令

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	第 57 条の 2、施行令 18 条の 2 別表第 9 名称等を通知すべき有害物
変異原性が認められた化学物質	該当しない
がん原性が認められた化学物質	該当しない
海洋汚染防止法	該当しない
化学物質管理促進法 (PRTR 法)	該当しない
消防法	指定可燃物: 合成樹脂類 その他のもの (3000kg)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物規制 (拡散、流出の禁止)
化審法	該当しない
既存化学物質リスト	
TSCA	未評価
ENCS/ISHL	全成分が化審法/安衛法に登録されているか、除外規定が適用される。
EINECS	未評価
KECL	未評価
DSL	未評価
PICCS	未評価
AICS	未評価

16 その他の情報

引用文献

GHS 対応 MSDS・ラベル実務早分かり(社団法人 産業環境管理協会)
製品安全データシート 02523990 DOW CORNING® SCG(東レ・ダウコーニング株式会社)

記載内容の問い合わせ先

担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4125
FAX 番号	075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料および文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。また、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上